

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年11月12日(2020.11.12)

【公開番号】特開2019-198762(P2019-198762A)

【公開日】令和1年11月21日(2019.11.21)

【年通号数】公開・登録公報2019-047

【出願番号】特願2019-159602(P2019-159602)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和2年9月25日(2020.9.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明は、上記の課題を解決するために以下の構成を採用した。

本発明に係る遊技機は、遊技を制御する遊技制御部と、演出を制御する演出制御部とを具備する遊技機であって、前記遊技制御部は、遊技者に有利な特別遊技を実行するか否かを判定する判定手段と、操作手段を用いる所定の操作に応じて、前記判定手段によって前記特別遊技を実行すると判定される判定確率が複数の確率のいずれかの確率となることを示す設定値を設定する設定手段と、前記設定手段によって設定された前記設定値を、少なくとも前記設定手段による前記設定が完了したときに送信する設定値送信手段と、前記判定手段の判定結果を送信可能な判定結果送信手段と、を備え、前記演出制御部は、前記設定値送信手段によって送信された前記設定値と、前記判定結果送信手段によって送信された前記判定手段の判定結果と、を受信可能であり、前記設定値に基づくことなく、前記判定手段の判定結果に応じた演出を制御可能であり、前記演出制御手段は、前記判定手段によって前記特別遊技を実行しないと判定されることを示す前記判定結果が受信された場合に、前記設定手段によって設定される設定値によらず、少なくとも一の演出を所定の実行確率で実行する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を制御する遊技制御部と、演出を制御する演出制御部とを具備する遊技機であって

、前記遊技制御部は、

遊技者に有利な特別遊技を実行するか否かを判定する判定手段と、

操作手段を用いる所定の操作に応じて、前記判定手段によって前記特別遊技を実行すると判定される判定確率が複数の確率のいずれかの確率となることを示す設定値を設定する設定手段と、

前記設定手段によって設定された前記設定値を、少なくとも前記設定手段による前記設定が完了したときに送信する設定値送信手段と、

前記判定手段の判定結果を送信可能な判定結果送信手段と、を備え、

前記演出制御部は、

前記設定値送信手段によって送信された前記設定値と、前記判定結果送信手段によつて送信された前記判定手段の判定結果と、を受信可能であり、

前記設定値に基づくことなく、前記判定手段の判定結果に応じた演出を制御可能であり、

前記演出制御手段は、

前記判定手段によって前記特別遊技を実行しないと判定されたことを示す前記判定結果が受信された場合に、前記設定手段によって設定される設定値によらず、少なくとも一の演出を所定の実行確率で実行することを特徴とする遊技機。